

忘れたころにやってくる自然災害に向けて

[地域防災避難訓練] の実施

今年度も、南中学校校区内「南栗原・東原・さがみ野地区」合同による地域防災避難訓練を6月16日（日）、晴天に恵まれたなか、市危機管理課・消防署・消防団・水道局・南中学校協力のもと、地域防災推進委員の指導をもって実施いたしました。

訓練は、役員間の通報訓練から始め、先発隊による避難所開設準備、一般者は「いっとき集合場所」での人数確認をして避難所への避難。避難所では20の単位自治会（参加総数230名）を2グループに分け。初期消火、煙体感体験、備蓄貯水槽からの給水体験、備蓄倉庫の備品確認、負傷者応急方法、及び災害時の安全講話を受け、終了時は施設管理者南中学校長からの講評をいただき、参加者全員に応急炊出し米弁当を支給しました。

南栗原地区自治会連合会会長 [南中学校避難所開設運営委員会会長] 大矢 賢一



施設管理者及び地区連会長挨拶



非常食用弁当作り



ハイゼックスによるおにぎり



毛布による応急担架



避難所受付



避難所備品の説明



開会式での模擬訓練者集合